

変化にスピーディーに対応し農業に貢献を！

ジェイカムアグリ株式会社

取締役副社長 守 能 祥 吉



新年明けましておめでとうございます。

平成22年の年頭にあたり本誌をご愛読頂いております皆様一言ご挨拶を申し上げます。

昨年は弊社にとりまして大きな変化の年でありました。平成21年10月1日にチッソ旭肥料(株)社と三菱化学アグリ(株)社が合併し新会社「ジェイカムアグリ株式会社」が発足しました。肥料の開発・製造・販売の事業基盤を一層強化し日本の農業に貢献し続けられる体制を目指しお客様の信頼に答えられる新社としたいと考えておりますので何卒よろしくお願い申し上げます。

わが国の経済は一部持ち直した動きはあるものの依然として経済対策で効果が表われた中国などの外需に依存するところが強く設備投資・個人消費・雇用といった内需は厳しい状態が続いております。景気には比較的左右されにくいとされていますが農業分野におきましても畜産・園芸・果樹の分野などにおきまして少なからず影響を受けていると認識しております。

近年の農業また肥料事業環境の特徴は変化が景気に左右されやすくなった事、またその幅が非常に大きくなった事ではないかと思えます。具体的には一昨年からバイオエタノール用向けの穀物生産に関する動きです。世界経済の拡大⇒化石燃料の需要拡大⇒代替燃料(バイオエネルギー)の需

要拡大⇒バイオ燃料用の穀物生産拡大⇒肥料需要の増大⇒肥料原料の高騰が起きましたが世界経済が縮小に向かった一昨年の後半より上述した事象が逆に流れ結果として国内外を問わず肥料価格の変動の幅は過去になく大きなものとなりました。

一方で食料生産の重要性(とくに国内自給率の向上)が再認識されたのも事実であり今後その議論が活発になる事を期待するものであります。またリン酸・加里をはじめとした肥料原料資源の重要性和資源国の動向も再認識されたのではないのでしょうか。今後は一層資源の有効利用が食料確保を達成する意味からも重要となると思われます。

「ジェイカムアグリ社」は農業また事業環境の変化にスピーディーに対応するとともに土中でゆっくり効く化学肥料、植物生育に合わせて肥効を調節できる被覆肥料などを取り揃えさせていただいております。

今後とも新会社一丸となって皆様のご期待に沿う様努力いたす所存でございます。皆様がたには倍旧のご指導ご鞭撻を賜れば幸甚でございます。

最後になりますが本年も本誌「農業と科学」のご愛読を深くお願い申し上げますとともに皆様方のご多幸とご繁栄をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。